

くらしの目線で市政を変える

こんにちは **日本共産党** 西野さち子 です！
京都市会議員

発行：2023年6月11日 連絡先：京都市伏見区新町10丁目3 8 1 日本共産党伏見地区委員会 Tel:075(611)9135 FAX:075(602)9117



5月議会終了

暮らしの願い
まっすぐ届けて

徹底論戦！！

5月17日～29日の13日間開かれていた5月市会が終わりました。補正予算の「中小企業物価高騰対策支援金」非課税世帯への「くらし応援給付金」低所得の子育て世帯のこどもへの「特別給付金」は少額ではありますが、共産党議員団が求めてきたものが実現しました。共産党議員団は、市長提案の補正予算を含めた議案47件のうち37件には賛成しました。しかし、事業者によるさらなる開発に道を開く都市計画提案条例や市営住宅に指定管理者制度を導入する条例など12件には反対しました。他の議員はすべてに賛成しました。

代表質問では、共産党議員は敬老乗車証制度の負担増中止や民間保育園の補助金の復活など「行財政改革計画」の撤回や全員制の中学校給食と無償化、子どもの医療費助成の拡充、市営住宅の指定管理者制度導入中止や中小企業支援などを求めました。一方、維新・京都・国民の会派は、ジェンダー平等の拠点施設ウイングス京都を含む「公共施設の統廃合」を



早く進めろと求めるなど、市民の願いに背を向けました。「維新会派」は自分たちの身は切らないが市民の身を切る改革を進める姿が明らかになりました。

終了本会議で いのち・暮らし守る意見書討論

終了本会議で共産党議員団は、国に対する意見書を提案し討論しました。

「出入国管理及び難民認定法改正案は廃案にし、国際人権基準に沿った人権尊重の制度に徹底的に見直すことを求める」意見書、「マイナンバー保険証の義務化と保険証の廃止の撤回を求める」意見書は立憲と無所属議員が賛成「インボイス制度の実施延期を求める」意見書、「『我が国の防衛力の抜本的な強化等のために必要な財源の確保に関する特別措置法案』を今国会で採決しないよう求める」意見書は無所属議員が賛成しましたが、他の議員が反対し否決されました。その他、「小中学校給食無償化を求める」意見書、「進行性の障害の状態をふまえた障害支援区分認定及び支給決定に係る適切な運営を推進するための措置を求める」意見書等6件を全会一致で採択しました。

議会 レポート 敬老乗車証の交付基準の見直しを求める陳情を審議しました

毎回の議会ごとに出されている「敬老乗車証制度の交付基準の見直しを求める」陳情が5月市会には492件だされ、環境福祉委員会で共産党議員が質問しました。他党議員は一言も質問しませんでした。共産党とがし議員からは「高齢者の社会参加に必要なもの」と様々な声を紹介しましたが「社会参加は徒歩でも自転車でもできる。」と答弁。敬老乗車証の申請者が減って「交通局も21億円の減収。敬老バス回数券が発行されても9億円の増収しかならず、結局12億円の減収になると報告している。敬老乗車証の経済効果は507億円ある」と質問しましたが「この制度は交通機関の補助金制度が目的ではない。3000円負担の人が9000円になっても月750円の負担でいい」と開き直りの答弁でした。閉会本会議には新たに490件の陳情が出されていますので、引き続き議論をしていきます。



くらし応援給付金

- ◆非課税世帯3万円（6月下旬～案内発送7月振り込み）

昨年の緊急支援給付金を受けた世帯は、口座変更がなければ自動振り込み

- ◆家計急変世帯は申請が必要です。区役所の窓口などにも申請用紙が置かれる予定です。

中小企業等物価高騰対策支援金

- ◆法人3万円 個人2万円で前回の法人5万円、個人3万円の支給を受けた方には自動振り込み。

- ◆4月30日までに新規開業した事業者や、前回申請していない事業者は申請が必要です。

低所得の子育て世帯生活支援特別給付金

- ◆子ども一人あたり5万円
- ◆申請不要の方
 - ①R5年3月分の児童扶養手当受給②R4年度中の子育て世帯生活支援特別給付金対象者
- ◆申請が必要な方
 - ①公的年金給付のためR5年3月の児童扶養手当を受けていない方②家計急変世帯（ひとり親家庭では児童手当対象の収入水準、それ以外は非課税相当）

